

Fukuoka Asian Art Museum
Art Exchange Programs
Annual Report 2012-2013

平成24年度 福岡アジア美術館交流事業報告書

福岡アジア美術館交流事業

□ 招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な美術交流事業を行うことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的とする。

□ 受入支援事業

本事業は、他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査・研究活動を希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員等を一定期間受け入れて、作品制作や調査・研究活動を支援することで、アジア美術の発展に寄与するとともに、福岡アジア美術館がアジア美術の交流拠点になることを目指す。



平成24年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

平成24年度福岡アジア美術館交流事業報告

美術交流事業の被招聘者については公募を行い、19カ国・地域から87人（美術作家80人、研究者・学芸員7人）の応募があった。美術交流事業招聘者選考委員会で選考し、美術作家はブディ・アグン・クスワラ（インドネシア）、チェン・チンヤオ／陳擎耀（台湾）、ランプー・カンサノウ（タイ）、アズリザ・ビンティ・アヨボ（マレーシア）、研究者・学芸員はシンゲ・サムドゥルップ（ブータン）、アンタリクサ（インドネシア）を招聘した。美術作家は最長10週間、研究者・学芸員は最長6週間、福岡に滞在し、様々な美術交流事業に取り組んだ。また、受入支援研究者としてリュウ・ヤティン／劉雅婷（台湾）を受け入れた。

美術交流事業

招聘美術作家

ブディ・アグン・クスワラ（インドネシア）	3
チェン・チンヤオ／陳擎耀（台湾）	7
ランプー・カンサノウ（タイ）	11
アズリザ・ビンティ・アヨボ（マレーシア）	15

招聘研究者

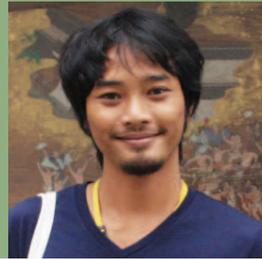
シンゲ・サムドゥルップ（ブータン）	19
アンタリクサ（インドネシア）	21

受入支援研究者

リュウ・ヤティン／劉雅婷（台湾）	23
------------------	----

招聘美術作家

ブディ・アグン・クスワラ/Budi Agung Kuswara(インドネシア)
1982年生まれ / インドネシア、バリ在住
滞在期間:2012年5月16日~7月24日



主な活動

○ 作品制作

バリ島の大神日におこなわれる伝統行事で用いられる、人間の邪悪な部分を象徴した張りぼての怪物「オゴオゴ」をビニール袋などの廃材を用いて制作し、それを白黒フィルムで撮影して、キャンバスにプリントし、加筆した平面作品3点を制作した。また、「オゴオゴ」のパレードの様子を映した記録映像を制作した。

○ ワークショップ

- 6月12日 「私のオゴオゴを作ろう!」
参加者:福岡市立愛宕小学校 6年生133人(彫刻ラウンジ、あじびホール)
- 7月14日 「オゴオゴの制作」
参加者:第18回九州高等学校文化連盟美術・工芸・書道・写真展(福岡大会)美術・工芸部門代表生徒 80人(彫刻ラウンジ、あじびホール)

○ トーク

- 5月19日 「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」
参加者:一般40人(あじびホール)
- 7月3日 「施設等を活用した体験学習」
参加者:福岡市立原北中学校 1年生246人(交流スタジオ)
訪れた中学生に制作中の作品について説明した。
- 7月15日 第18回九州高等学校文化連盟美術・工芸・書道・写真展(福岡大会)
作品講評会・講演会
参加者:九州8県代表生徒 280人(都久志会館)
- 7月21日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」ギャラリー・トーク
参加者:一般67人(交流ギャラリー)

○ 展覧会

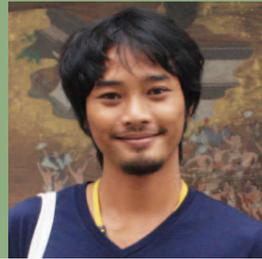
- 7月21日~8月6日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」
観覧者:1409人(交流ギャラリー)

作品制作



招聘美術作家

ブディ・アグン・クスワラ / Budi Agung Kuswara (インドネシア)



ワークショップ

(6/12)



(7/14)



トーク

(5/19)



(7/3)



(7/15)

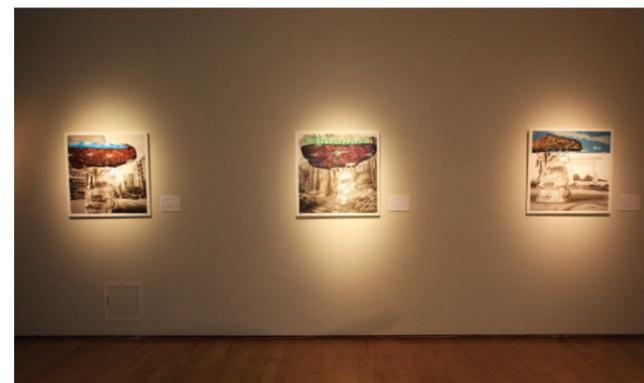


(7/21)



展覧会

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」(7月21日~8月6日)



招聘美術作家

チェン・チンヤオ / 陳擎耀 (台湾)
1976年生まれ / 台湾、台北在住
滞在期間: 2012年5月16日~7月24日



主な活動

作品制作

2009年より展開している「レストラン・プロジェクト」の一環として、福岡市内のラーメン屋、カレー屋、ナポリタン・スパゲティを出す喫茶店、居酒屋で、それぞれの場所に中国、インド、マフィア(イタリアのギャング)、江戸時代の侍と町人の衣装をまとった人たちを配した写真作品4点と、国籍の異なる5人の男たちが体操服を着て商店街でラジオ体操をしているビデオ作品を制作した。

ワークショップ

- 6月8日 「Wonder Photo」事前トーク
参加者: 西南学院小学校 5年生70人(西南学院小学校)
- 6月19日 「Wonder Photo」
参加者: 西南学院小学校 5年生70人(彫刻ラウンジ、交流スタジオ)
- 6月26日 「Wonder Photo」
参加者: 福岡市立壱岐ヶ丘中学校 2年生85人
(彫刻ラウンジ、交流スタジオ)
- 7月10日 「施設等を活用した体験学習」
参加者: 福岡市立和白丘中学校 1年生280人(交流スタジオ)

トーク

- 5月19日 「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」
参加者: 一般40人(あじびホール)
- 7月21日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」ギャラリー・トーク
参加者: 一般67人(交流ギャラリー)

展覧会

- 7月21日~8月6日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」
観覧者: 1409人(交流ギャラリー)

作品制作



招聘美術作家

チェン・チンヤオ / 陳擎耀 (台湾)



ワークショップ

(6/19)



(6/26)



トーク

(5/19)



(7/10)



(7/21)



展覧会

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」(7月21日~8月6日)



「博多ラーメン/三九ラーメン・どこを見て?」*



「居酒屋/庵・酔ったお客さま」*



「カレー屋/パークレー・ヨガマスターの三兄弟」*



「喫茶店/琥珀館・これはナポリタンじゃない!」*



「国際ラジオ体操」(映像)*



※すべて寄贈作品

招聘美術作家

ランプー・カンサノウ/Lampu Kansanoh(タイ)
1983年生まれ / タイ、サムットソンクラム在住
滞在期間:2012年9月15日~11月20日



主な活動

○ 作品制作

福岡で出会ったさまざまな人々をモデルにした油彩画5点を制作した。

○ ワークショップ

10月6日 「お気に入りの服にリメイクしよう！」

参加者:古賀市立古賀北中学校 美術部17名(交流スタジオ)

10月16日 「タイのクラトーン(灯明)制作」

参加者:春日市立春日北中学校 2年生130名(春日市立春日北中学校)

10月29日 「友だちや自分の変顔を描こう！」

参加者:福岡市立石丸小学校 3年生114名(福岡市立石丸小学校)

○ トーク

9月17日 「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者:一般57名(交流スタジオ)

11月17日 「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」ギャラリー・トーク

参加者:一般67人(交流ギャラリー)

11月18日 「アジアンアーティストトークセッション」

(霧島アートの森主催「加藤泉展 SOUL UNION DELUXE」関連イベント)

参加者:一般38人(霧島アートの森 多目的ホール)

○ 展覧会

11月17日~12月3日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」

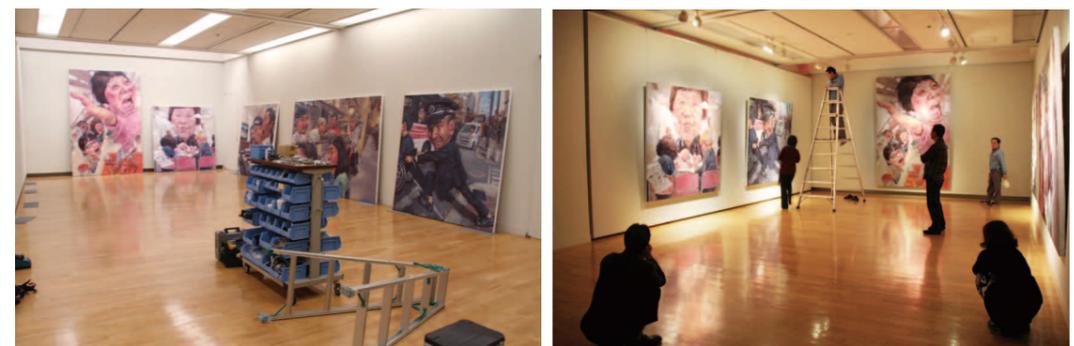
観覧者:1599人(交流ギャラリー)

○ 地域交流イベント

10月20日 「博多リバレイン灯明」(博多リバレイン フェスタスクエア)

ランプー・カンサノウが、タイの灯籠祭りをテーマに下絵を描き、ボランティアスタッフとともに、灯籠が浮かぶ川の流れと花火のあがった満月の空を、数千個の灯明で地上絵として完成させた。

作品制作



招聘美術作家

ランプー・カンサノウ/Lampu Kansanoh(タイ)



ワークショップ

(10/6)



(10/16)



(10/29)



トーク

(9/17)



(11/17)



(11/18)



展覧会

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」(11月17日~12月3日)



「熱心な清掃人」(寄贈作品)



地域交流イベント

「博多リパレイン灯明」(10/20)



(制作風景)



招聘美術作家

アズリザ・ビンティ・アヨボ / Azliza Binti Ayob (マレーシア)
1975年生まれ / マレーシア、クアラルンプール在住
滞在期間: 2012年9月15日~11月20日



主な活動

◎ 作品制作

2006年から制作している「Tumpang」(マレー語で「間借」の意)シリーズをさらに展開させ、福岡の人々と一緒に2388個のキノコを制作し、インスタレーション作品を完成させた。

◎ ワークショップ

10月11日 「珍しいキノコを作ろう！」

参加者: 福岡市立有田小学校 3年生105名(彫刻ラウンジ)

◎ トーク

9月17日 「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者: 一般57名(交流スタジオ)

10月5日 「トークと創作体験」

参加者: 福岡市立原中学校 2年生195名(彫刻ラウンジ)

11月17日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」ギャラリー・トーク

参加者: 一般65人(交流ギャラリー)

◎ 展覧会

11月17日~12月3日 「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」

観覧者: 1599人(交流ギャラリー)

作品制作



招聘美術作家

アズリザ・ビンティ・アヨボ / Azliza Binti Ayob (マレーシア)



ワークショップ

(10/11)



トーク

(9/17)



(10/5)

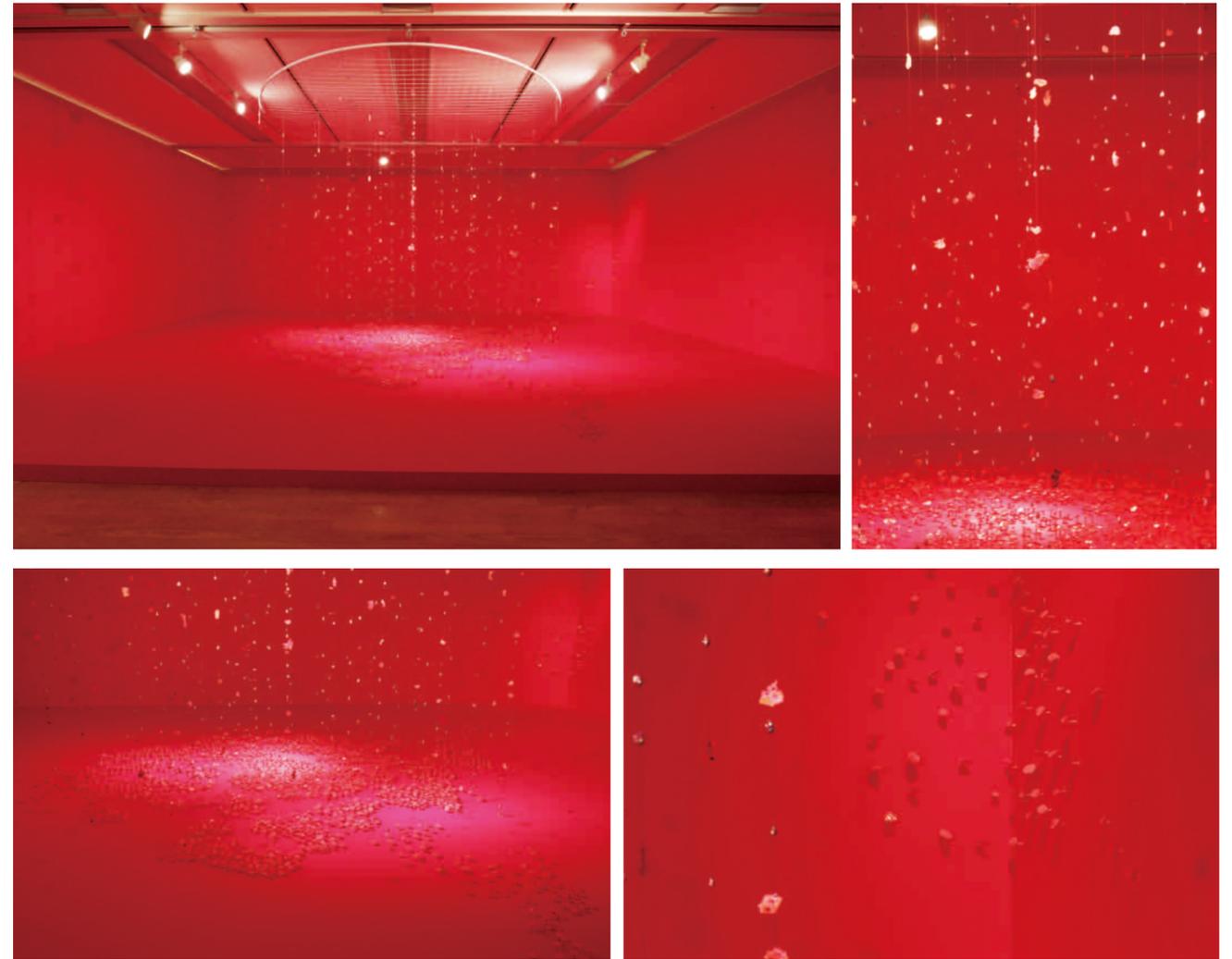


(11/17)



展覧会

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」(11月17日~12月3日)
「Tumpang:福岡」



招聘研究者・学芸員

シンゲ・サムドゥルツプ / Singye Samdrup (ブータン)
1975年生まれ / ブータン、パロ在住
滞在期間: 2013年1月31日~3月15日



主な活動

調査・研究

当館の所蔵品を調査したほか、チベットの仏教絵画やミュージアム・マネージメントを学ぶため、九州国立博物館、福岡市博物館、佐賀県立美術館・博物館などを訪問し、具体的な作例、展示・照明の方法、所蔵品の管理等を調査した。

美術講座

2月10日 「あじび美術講座2013 ブータンの文化と生活」
参加者: 一般66人(あじびホール)

トーク

2月7日 「ブータンの暮らしと文化について」
参加者: 九州大学病院(院内学級)の生徒 8人(九州大学病院)

2月15日 「ブータンの暮らしと文化について」
参加者: 東住吉小学校 5年生45人(あじびホール)

調査・研究



美術講座

(2/10)



トーク

(2/7)



(2/15)



招聘研究者・学芸員

アンタリクサ / Antariksa (インドネシア)
1975年生まれ / インドネシア、ジョグジャカルタ在住
滞在期間: 2013年2月1日～3月14日



主な活動

○ 調査・研究

「戦時下におけるアジアのイメージ」をテーマに、第二次世界大戦中におけるアジア諸国の美術表現を当館の所蔵品から研究した。

○ 美術講座

2月9日 「あじび美術講座2013
ジョグジャカルタ～福岡 アートの現場—拠点づくりをめざして」
講師: アンタリクサ、宮本初音 (ART BASE 88)、松崎宏文 (Studio Kura)
参加者: 一般67人 (あじびホール)

○ トーク

2月28日 「インドネシアの社会と文化について」
参加者: 城南中学校 2年生277人 (あじびホール)

調査・研究



美術講座

(2/9)



トーク

(2/28)



受入支援研究者

リュウ・ヤティン/劉雅婷(台湾)
1986年生まれ / 台湾、台北在住
滞在期間:2012年9月3日~11月30日



主な活動

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

◎ トークと創作体験

台湾の暮らしや文化についての話を聞き、「折星星^{ザー・シン・シン}(台湾で願い事があるときなどに細長い紙を折って星を作る)」を体験した。

10月5日 春吉小学校 4年生41人(彫刻ラウンジ)

10月26日 当仁小学校 2年生90人(彫刻ラウンジ)

トークと創作体験

(10/5)



(10/26)

